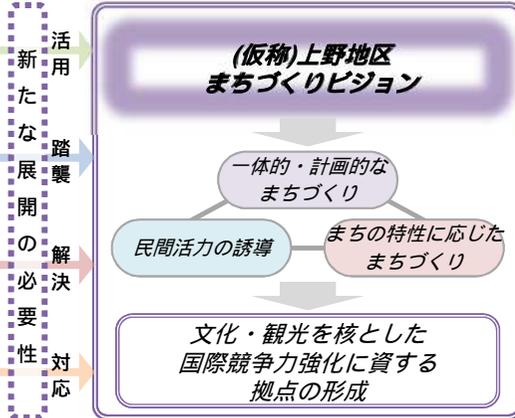


## 1 策定の背景と目的

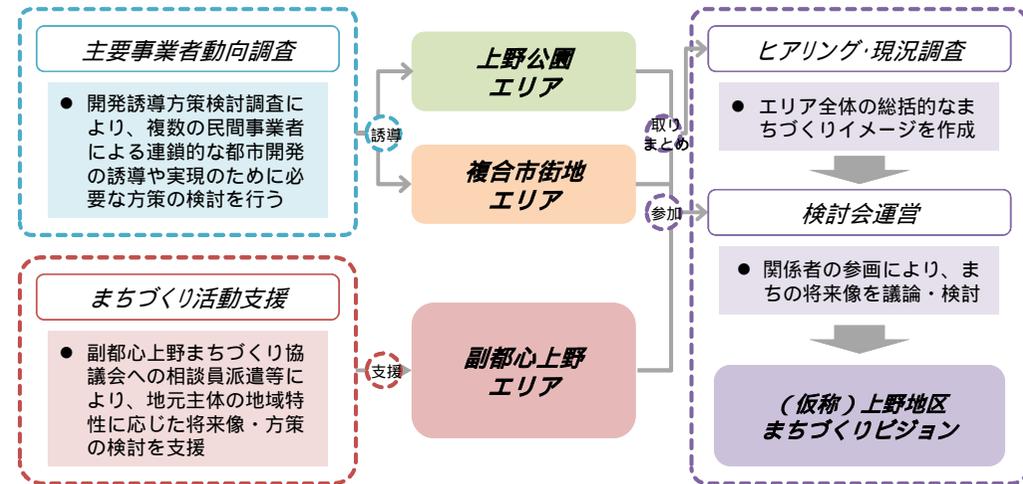
- 当地区は豊富な資源を抱えるとともに、副都心の一つとして位置づけられ、「都市計画区域マスタープラン」では、文化観光の拠点となる副都心を形成することとされている
- 近年は、このような資源を活かしきれず、相対的な都市活力の低下が懸念される中、効果的なまちづくりの進展が見られない状況である
- そこで、『(仮称)上野地区まちづくりビジョン』を策定し、民間活力を活用しつつ、地元主体の計画的・一体的なまちづくりを推進し、「文化・観光を核とした国際競争力強化に資する拠点の形成」を図る

- 地区の特性
  - ✓ 上野公園を中心としたみどり・文化施設の集積
  - ✓ アメ横のにぎわい、御徒町の専門店の集積 等
- これまでの成果・動向
  - ✓ 地下駐車場の整備
  - ✓ 歩行者デッキの整備
  - ✓ 大江戸線の開通
  - ✓ 地区計画の策定 等
- 残された課題
  - ✓ 不明確な主体
  - ✓ 相対的な拠点性の低下
  - ✓ 計画性・一体性不足
  - ✓ 行政での整備の限界 等
- 社会情勢等の変化
  - ✓ 東京五輪開催決定
  - ✓ 政策誘導型都市づくり
  - ✓ 東日本大震災の発生
  - ✓ 区域マス等の改定 等



## 3 策定に向けた業務

- エリアごとの特性や動向等を踏まえ、「主要事業者動向調査業務（H28）」、「まちづくり活動支援業務（H27～）」、「ヒアリング・現況調査及び検討会運営業務（H28・29・30）」を実施する
- これにより、各エリアのまちづくり・都市開発を把握・誘導するとともに、エリア全体の総括的なビジョン策定を図る



## 2 対象とする区域(案)

- 副都心の区域を軸に、まちづくりの機運や市街地更新・拠点性向上の必要性、周辺エリアとの連続性を考慮し区域を設定する

## 上野公園エリア

- 文化・観光施設、豊富なみどりが集積
- 上野「文化の杜」新構想の推進
- 上野駅との連続性や、文化・観光関連施設のさらなる拡充の必要性

## 複合市街地エリア

- 区役所・警察署・消防署等の公共施設が集積
- 東上野四・五丁目まちづくりガイドラインを策定済
- 災害時の行政機能の継続、昭和通り上野駅周辺との連続性の必要性

## 副都心上野エリア

- にぎわいの拠点として「アメ横」を抱える
- 御徒町駅周辺ではまちづくり・市街地整備が進捗
- 市街地の老朽化による、市街地の更新の必要性
- 秋葉原駅周辺、湯島・本郷との連携の必要性
- 上野駅の交通結節機能、まちの拠点機能、上野公園との連続性の強化が求められる
- 上野駅と一体となった周辺市街地の整備が望まれる
- 現在、JR上野駅公園口周辺整備の事業を実施中



## 4 スケジュール

- 平成30年度末の策定を目指して作業を進める
- 東京五輪開催までに整備すべきものについては、整合を図りつつ、先行して整備を行う

